diy & Maintenance

年末大そうじスペシャル

キレイで明るい窓にして、気持ちのいい新年を迎えましょう。

明るい陽光が差し込む窓は、室内の顔といえる存在です。窓ガラスをキレイにするだけで室内の印象はガラッと変わります。今年の大そうじは、まず窓ガラスをピカピカにして新鮮な気持ちで新しい年を迎えませんか。

大そうじ、ここだけはやってほしい。

窓のおそうじ

［目安の時間］ **窓ガラス1枚約10分**

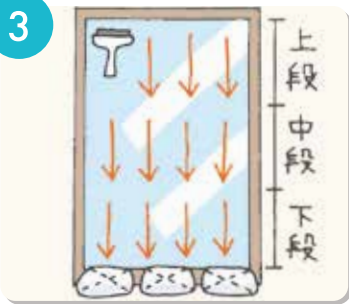
［用意するもの］ **◎刷毛　◎ゴム手袋　◎スプレーボトル（霧吹き）　◎スクイジー　◎雑巾　◎窓用モップ　◎ガラス一発クリーン（マイクロファイバー）**

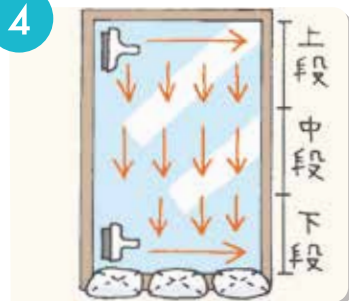
1

汚れを刷毛で簡単に払います。

2

汚れを落とした後、霧吹きで水を吹きかけながら、窓用モップで汚れを取り、スクイジーで拭き取るように汚れを落とします。

3

窓ガラスの下に水分を吸い取るための雑巾を敷いておきます。そうじする部分に少しずつ霧吹きで水を吹き付けます。スクイジーをタテに動かし、上段→中段→下段とブロックごとに掃除していきます。

4

〈仕上げ〉ガラス全面に霧吹きをし、一番上はスクイジーをヨコに、そして上段→中段→下段とブロックごとにタテに動かし、そうじしていきます。一番下もスクイジーをヨコに動かして終了。

5

ガラス一発クリーン（マイクロファイバー）で仕上げ拭きしましょう。

⚠ ご使用の前に必ず、製品の取扱説明書および注意事項をお読みください。

普段なかなかできないところをこの機会にキレイに。

フローリングのお手入れ

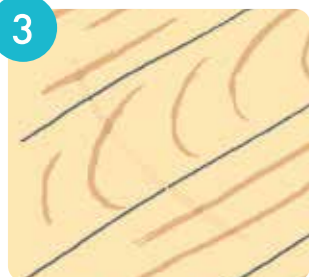
すり傷・細かい傷は筆ペンタイプがオススメ

[用意するもの] ◎ペン型補修用具（フローリング専用）

「塗るだけなので本当に簡単です」

住まいのマニキュア
ミニ10色セット

1 最初に隅で試し塗りをすると色具合がわかります。イスや机など家具を引きずった時についてしまった細い引っかきキズのお手入れは…。

2 フローリングの色に合わせて色を選びます。ペンの使い方のコツは、引っかきキズの線上をなぞるのではなく、木目にあわせて左右にペンを動かし、ぼかすように塗っていくのがポイントです。

3 木目の色の濃い部分や、継ぎ目などには、濃い色のペンを使って塗りわけることで、木目の風合いをいかした仕上がりになります。

シャワーヘッドのおそうじ

しつこい水あかには「湿布法」を

[目安の時間] 約40分

[用意するもの] ◎キッチンペーパー ◎プラスチックバット ◎お酢ティンクルなどの弱酸性洗剤

1 キッチンペーパーを短冊状に切り、プラスチックバットに入れ、「お酢ティンクル」などの弱酸性洗剤に浸します。

2 水栓やシャワーヘッドにキッチンペーパーを巻き付け、約30分間放置。水で洗い流します。

[ご注意]シャワーヘッドのプラスチック部分が変色する場合があります。お酢ティンクルなどの洗剤をご使用される前に、シャワーの製品説明書、洗剤の使用説明書をよくお読みください。

シャワーヘッドの目詰まりを防ぐには……

[目安の時間] 約20分

[用意するもの] ◎まち針など

1

2

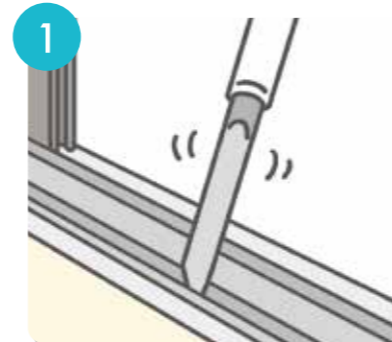
シャワーを出した時に水やお湯が出ない穴があったり、四方八方に散ったりする時は、水あかによる穴の目詰まりが考えられます。まち針などで穴をつつくと、ガリガリという感じで穴が通ります。つついた後、シャワーヘッドをはずして中を水洗いします。

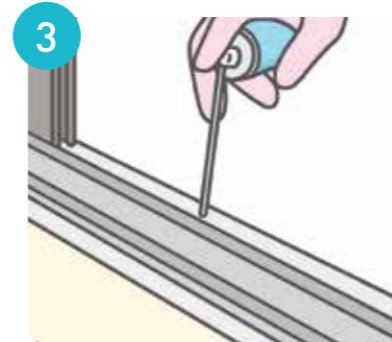
⚠ ご使用の前に必ず、製品の取扱説明書および注意事項をお読みください。

窓そうじにプラス、ここもキレイに。

サッシのおそうじ

[目安の時間] サッシ片面1枚約10分

[用意するもの] ◎シリコンスプレー ◎サッシブラシ ◎ゴム手袋 ◎割りばし ◎布 ◎掃除機

1 掃除機の隙間ノズルを使ってホコリを吸い取ります。

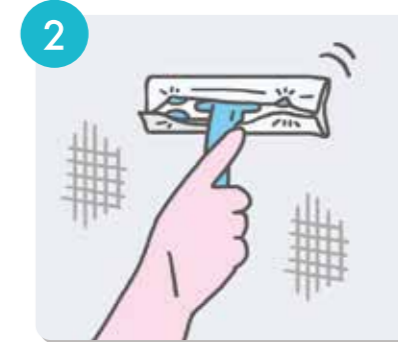
2 サッシブラシで汚れを落とし、レールの隅は割りばしに布を巻きつけ拭き取ります。

3 仕上げにレールにシリコンスプレーを吹きかけます。

※転倒の原因になりますのでシリコンがフローリングに付かないようご注意ください。

網戸のおそうじ

[目安の時間] 網戸1枚約10分

[用意するもの] ◎刷毛 ◎ゴム手袋 ◎網戸専用クリーナー ◎マイクロファイバー

1 ゴム手袋をはめ、刷毛で網戸のホコリを払います。

2 ハンディタイプの網戸専用クリーナーを使えば、お手入れがぐんと手軽に。軽くこするだけで簡単に汚れが拭き取れます。

3 水にぬらしたマイクロファイバーを固く絞って仕上げ拭きをします。

※網がゆるみますので強く押し当てないでください。

⚠ ご使用の前に必ず、製品の取扱説明書および注意事項をお読みください。

Column 積雪時の注意

室外機の前に積もった雪が、故障の原因になる場合があります。

エコキュートのヒートポンプユニットやエアコンの室外機の前に積もった雪をそのまま放置しておくと、エコキュートやエアコンの運転能力が低下し故障の原因になりますので、室外機の周辺に積もった雪は取り除くようにしましょう。

軒からの落雪や玄関ポーチの凍結には十分な注意を。

軒から落ちた雪のかたまりに当たってケガをする場合があります。軒下や、カーポートの周辺を歩くときには、十分に注意しましょう。玄関まわりも踏み固められた雪によりたいへん滑りやすくなっています。お子様や高齢の方などケガに注意が必要です。